

ICT を活用した授業の展開⑩

【3年生 国語 「すがたをかえる大豆」】 ①は ICT 機器の活用場面

	学 習 内 容	○発問・対話を生み出す手立て	○ICT の活用
つかむ とらえる	<p>1. 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例ごとの「おいしく食べるくふう (赤)」「手をくわえる言葉 (青)」「食品 (黄)」を振り返る。 <p>2. 課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例をランダムに入れ替え、事例の順序を確認する。 <p>事れいはどんなじゅんじょで書かれているかを考えよう。</p>	<p>○発問・対話を生み出す手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例ごとに色分けした発表ノートを投影して、「おいしく食べるくふう」「手をくわえる言葉」「食品」が書かれていることを確認できるようにする。 ○先生は豆腐が好きだから、豆腐が一番にするね。 ○先生が好きな順番? 順番が分かりにくいダメ。 ○なんでダメなの? ○それぞれの段落で「写真から見たこと」、「おいしく食べるくふう」、「手をくわえる言葉」を提示する。そこに重要語句や自分の考えを書き込む。事例の順序を考える。 	<p>ICT 活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①画面表示 (課題設定) ←教師 ②食品名の事例の操作 (まとめ) ←児童 <p>①色分けされた文章段落ごとに動かすことができる。子どもが段落を入れ替えるイメージをもつことができる。</p>
深める	<p>3. 個人・全体で追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真を見ると、豆まきに使う豆やに豆、きなこ、とうふの順に、すがたはだんだん変わっているから、すがたのかわり方が大きい順になっているよ。 「おいしく食べるくふう」は、いるくふうから、いって、こなにひくくふうのように、だんだんむずかしいくふうの順になっているよ。 「手をくわえる言葉 (青)」がだんだんふえているから、手のくわえ方が多い順になっているね。 	<p>○まずは、キーワードを出してみましょう。</p> <p>○順序を比べるとき、「中」全体を見ても良いし、隣同士の段落を見てもよいです。</p> <p>【個人追及】 机間巡視</p> <p>【全体追及】</p> <p>○気づいたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ④は粉に引いて食べます。大豆の色が出ています。「いる+粉にひく」です。一つ仕事が増えています。③はいるだけで完成です。 ⑤は「水に浸す+すりつぶす+熱する+絞り出す+にがりを加える+固める」 ○筆者は手間がかかりにくい順に並べています。 	<p>●発表ノートでは書く内容が多く、キーワードなどを書き込むには数ページに及ぶため、全体像を見ながら考えることができるプリントを採用する。</p>
まとめる	<p>4. 深めの発問をする。</p> <p>でも、4つ目と5つ目の事例のなっとうやえだまめのすがたは、1つ目の事例のに豆とあまりかわっていないね。1から3つ目の事例と4、5つ目の事例には、どのようなちがいがあがあるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つ目までの事例の豆まきに使う豆やに豆、きなこ、とうふは人の手で作ることができる。 4つ目の事例は人の手だけでなく小さな生物の力をかりて、作ることができるから、作り方が特別だね。 5つ目の事例のえだまめは、とり入れる時期をずらしているね。もやしはそだて方が大豆とちがうよ。 <p>5. 自分のパンフレットの書き方をまとめる</p> <p>わたしの「すがたをかえる魚」でも、まず、すがたがかわっている順になるように、にて作る「つくだに」、いぶした魚を干して、けずって作る「かつおぶし」の順に書いていく。そのあとに、こうその力ではこうさせて作る「塩辛」を書いていく。</p>	<p>研究内容 2-① 深めの発問の工夫</p> <p>事例の順序が「すがたの変わり方が大きい順」のみとならないように、すがたの変わり方にあまり変化のない食品に着目し、1つ目の事例と4・5つ目の事例の違いを問うことで、「すがたの変わり方が大きい順」から、さらに、「作り方が特別な順」となっていることに気づけるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○③④⑤は「姿が変わる順」です。 ○⑥は人の手もかけているが、納豆菌とコウジカビの小さな生物の力も借りています。 ○⑥⑦は生物が関わっていたり、時期が変わっていたりする。特別な順といえます。 <p>研究内容 2-② まとめる時間の工夫</p> <p>本文の事例の順序で分かったことを基に、自分のパンフレットの事例をどのような順序で書くのかをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パンフレットの事例の書き方を考える場 (事例の操作) を設定し、「中」の段落の書き方をまとめることができるようにする。 	<p>②あらかじめ、「すがたをかえる○○ (青)」を決めて事例 (赤) を選んでおく。学習を生かしの姿が変わる順、特別な順で書く順に並べる。(付箋機能は移動可能)</p> <p>②自分の発表ノートをプロジェクターに映し、発表。</p>